

会 議 名	令和7年度(2025年度) 第5回八王子市食育推進会議
日 時	令和8年(2026年)3月16日(月)付通知による書面開催
場 所	
出席者氏名 (※「意見照会シート」の提出をもって出席とする。)	葛西 真弓、勝田 芳子、松本 賢一、峰尾 幸代、岡部 貴代、岩瀬 政子、 内藤 里美、田川 富美子、町田 淳一、三宅 久美
欠席者氏名	加藤 直樹、野下 清子、小池 さとみ、浦野 真沙子、松久保 雅和、篠原 由美子
議 事	(1)第4期八王子市食育推進計画について (2)パブリックコメント手続の結果について
公開・非公開の別	—
非公開理由	—
傍聴人の数	—
配付資料名	(1)資料1 第4期八王子市食育推進計画 (2)資料2 パブリックコメント手続の結果 (3)資料3 意見照会シート

【意見の主な内容】

1. 貴団体(またはご自身)として、今後取り組んでみたいことや、実現したいアイデアをご記入ください。これまで取り組んできたことでも、大歓迎です。日々の活動の中で「こんなことができそう」「こんなことを一緒に進めたい」など、自由にお聞かせください。

意見 1	<p>私の団体としては、災害時の家庭備蓄について更に推進していきたいと考えており、パッキングをもっと身近に普段からできるようなハードルの低いものにしていきたいです。</p> <p>また、医療法人の管理栄養士としては、八王子の農家と病院、高齢者施設、認知症グループホームとの連携ができれば良いと思います。</p> <p>特に、農業と精神疾患・認知症・リハビリを組み合わせたら、どのような効果が得られるのか大変興味があります。</p>
意見 2	<p>乾パンアレンジレシピ、パッキングの小冊子、エコサラダレシピなど市からの配布物が大変実用的で助かっております。</p> <p>管理栄養士の監修のもと自治体からこのような発信があると大変心強いです。</p> <p>そこで提案です。最近、人気料理研究家が「生きるための弁当」というレシピ本を出版することで興味を持ちました。安く早くそして美味しい、お昼代を半額以下にするそうです。タイトルも印象的で令和的なような印象を受けました。</p>

	<p>今の社会情勢(上がらない給与、物価高、少子高齢化、単身世帯増加、共働きなど)を鑑みると「日本の家庭料理」はもはや余裕のある人向けかもしれません。</p> <p>他の国の日常的な家庭料理と比べても、お米を研いで炊き、味噌汁をつくるなどの日本の家庭料理は手間がかかりすぎ、理想が高い気がします。</p> <p>包丁と火の使用を最小限にして、(包丁、火を使わないならなお有り難いです)</p> <p>災害時用の食事とはまた別の、バランスよく十分な栄養が摂取できる、余裕がないなら「日々の食事はこれでも大丈夫なんだよ」という献立を自治体から発信していただけると有り難いです。</p> <p>健康的な食事を用意するために体力気力を使ってしまう状態が少しでも無くなればと思います。</p> <p>八王子市に引っ越しをしてきて3年目ですが、「マルシェ 802」や道の駅などの存在が自然と耳や目に入ってくるのが全くありませんでした。</p> <p>バス、電車、公共機関などにもう少しポスターなどがあると発信力が強まる気がします。</p>
<p>意見 3</p>	<p>もっと広く市民に知ってもらいたいと思います。「市民センターまつり」「環境市民会議」「地球温暖化防止推進委員会」「各市民団体」「生涯学習コーディネーター」などに食育の大切さ、新しいアイデア募集と共催、食育を絡めたイベント企画などの公募などアピールできることはたくさんあると思います。</p> <p>① 食育をテーマにした、レシピコンテスト 児童向け、学生向け、成人向け、高齢者向けなどで食のバラエティーを豊かにできるようなもの。</p> <p>② 学校給食の人気献立レシピ集配布(各給食センター間のおすすめレシピなど) 現役小学生に人気、小学生の頃の懐かしい給食など、各年代に合わせたものができると思います。</p> <p>③ 小学校のサマースクール 小学生とその保護者向けに、お料理教室や八王子の農業についての講習会。</p> <p>④ 各イベント参加者に「はっちくん」ラインスタンプキャラクター又は、学校給食センターキャラクターの缶バッジ配布、イベントごとに違う種類の缶バッジをコレクションしてもらい、競わせる。(トレーディングカードの缶バッジ版のようなもの)</p>
<p>意見 4</p>	<p>私は健康サポーターとして高齢の方と接する機会が増える中で、60代以降の方の孤食増加に対して改善策に力を入れていくことはとても大事な事だと痛感しています。既に食育推進の一環として親子料理教室などが開催されていますが、高齢者人数も多い半面、学生の人数も多い特色を持つ我が市。その特色を生かして問題解決に取り組めたらと考えています。</p> <p>世代間を超えた交流の場を、沢山ある各部署と連携を取りながら人とのつながりを通して食育を全世代に広げていくことができれば、孤食課題のみならず各世代間での現在の課題解決にもつながっていくものと考えます。</p> <p>以前私は高齢者あんしんセンターからの依頼で、緑が丘小学校の授業の一環として、認知症の方が子供達と一緒に過ごす時間の見守りボランティアをしたことがあります。その際、子供達、協力者である認知症当事者の方も、また見守り住民それぞれが自分の立場で学びがあっ</p>

	<p>たといった経験をしました。参加された方が楽しかったと感想を述べ、世代間・置かれた環境の違いを超えて交流の大切さを感じた時間でした。その学びを同じように高齢者の孤食問題に関しても生かせたらと思っています。</p> <p>具体的な提案としては、地域の防災訓練と小学校での防災訓練を合同で行う→現在給食センターで行っている災害時の料理教室も訓練の中に織り込む→給食試食会も可能な範囲で取り入れる→八王子の100年フードとしてかてめし等の試食販売を行う。など、今まで別々で行ってきたことを1つのイベントとして連携して行うことによって、それぞれの部署で食育を進めるよりもより効果的に推進ができ、推進活動を幅広く知ってもらえる機会になりうるのではないかと考えます。</p>
<p>意見 5</p>	<p>① 食の安全・安心の確保の観点から、八王子食品衛生協会では、所属する飲食店等の皆様に、市が実施する実務講習会に積極的に参加を呼びかけてきました。これからも、HACCP に沿った衛生管理により、市民の皆様が安心して飲食店を利用していただけるよう、適切な食品管理と衛生管理の維持を啓発していきたい。</p> <p>② 飲食店を利用する際に、アレルギーの有無や栄養バランスを自ら確認できる様、メニュー等で栄養成分やアレルギーの表示を行う。また、市民の生活習慣病等の予防という観点から、各飲食店で健康的なメニューを考案して、健康に対する意識の向上に貢献する。</p> <p>③ 孤食を防ぎ、コミュニケーションを育むために、地域の中で誰かと一緒に食事を楽しめる「共食」の場を提供できないか検討する。</p> <p>④ 地元の農家さんから、食材を調達しメニューに取り入れることで、地域資源を活用し、市民の地域農家への理解促進に協力する。</p> <p>⑤ 食べ残しを減らすために、飲食店では小盛りや少量のメニューを作り、食品の販売店には、期限の近い食品の割引等を検討し、売り切る工夫をする。</p> <p>⑥ アプリ等を使ったマッチングサービスを使い、より効率的に情報発信を行い、「食を大切にする人々を育むまち」という将来像の実現に向けて、八王子食品衛生協会の会員一人ひとりが、地域の重要なパートナーとして活動をしていく。</p>
<p>意見 6</p>	<p>保育園・こども園として食育活動の中で、体験（やってみる）、つながり（人・地域）、継続（日常化）を意識して単なるイベントではなく、日常に取組できそうなことを考えてみました。</p> <p>① 地元の農家とつながる「育てる→食べる」体験 畑体験、収穫体験 →苦手な野菜も食べられるようになりやすい</p> <p>② 地産地消給食 Day（見える化） 八王子産米を食べる日のように月に1回入れる 食材の産地を入れる →保護者にも発信できる（食育の共有）</p> <p>③ フードロス もったいない体験 食べ残しを減らす取り組み →将来像「食を大切にする人々を育むまち」に直結 環境教育になる</p>

<p>意見 7</p>	<p>活動内容（集団給食協議会としての活動は③）</p> <p>①食品寄贈 地域の子供食堂（北野カフェ）への食品寄贈（冷凍食品 焼きおにぎり、パスタソースなど）を25年11月より開始しています。</p> <p>②工場見学、食品づくり体験 食育を目的として、八王子市内の小学校、支援学校の工場見学を実施、ちくわの手作り体験を子供達の社会体験活動を実施している団体などに対して実施</p> <p>③災害時メニューの調理 行政栄養士の方々と災害時の防災食の調理を実施。</p> <p>今度取り組んでみたいこと</p> <p>①健康領域食品の案内活動 速筋たんぱく※1、減塩、DHA・EPA 入りの魚肉ソーセージや、ちくわ、かにフレーク（かまぼこ）の生産を行っており、この商品の機能性や有用性について、食育や健康に関わるイベントにおいて生活者の皆さんに伝える活動を行う。 ※1 スケソウダラの白身はそのほとんどが、俊敏な動きの源となる「速筋」で構成され、そこに含まれるタンパク質が「速筋タンパク」と呼ばれ筋肉になり易いタンパク質です。</p>
<p>意見 8</p>	<p>大学生の食育として、以下のようなことが実現できたら良いと考えております。</p> <p>① 学生食堂で八王子産の農作物を提供 ② 八王子で採れる農作物の紹介 ③ 農業体験 ④ 八王子産野菜の販売 ⑤ セミナー開催</p>

2. その他ご意見等ございましたらご記入ください。

<p>意見 1</p>	<p>食育推進計画の資料、拝読しました。様々な取り組みがされていますし、もっともっと市民全体に周知されると良いと思います。きっと自分の住んでいる市を誇りに思えるのではないかと思います。</p> <p>会議でも皆様それぞれのお立場からのご意見、大変勉強になりました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次回以降もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>意見 2</p>	<p>ほかの会合（「川の学習サポーター」の会議）で教えてもらいましたが、「八王子キャンディー」があることを知りました。こういう商品もアピールしたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>意見 3</p>	<p>あらゆる角度で市民の健康と安心して暮らせるビジョンを考えて動いてくださっている各部署がもっと連携しあい共作しあうことで、素晴らしい取り組みが実現するのではないかと思います。皆様の熱意のお陰で八王子市民であることを誇りに思います。ありがとうございます！</p>
<p>意見 4</p>	<p>以下について、地産地消から知りたい情報です。</p> <p>① 八王子産の食材を購入できるところ ② 八王子産の食材で食べられるレストラン</p>

	③ 旬の八王子産の食材
意見 5	第4回の推進会議でも貴重な意見がありました。それらの提言を取りまとめて文書にし、それに対する行政側の対応を知りたいと思います。今後、各構成員に送るのはいかがではないかと思えます。
意見 6	食育推進会議において当社のような企業に何を求めているのか、改めてお聞かせ願いたい。
意見 7	若者の食育も大事ですが、中年以降の健康も同じく重要と考えます。そういった年齢層向けのセミナー、体験学習なども検討が必要かと思えます。簡単なことではありませんが、ぜひご検討いただけましたら幸いです。

※ いただいたご意見は、趣旨を損なわない範囲で表現を調整し、文言を補足しています。